



2017年は丁酉 一白水星の年



監修：現代風水研究会 安藤 成龍 会長
URL www.gendaifusui.com

今年の十干十二支は丁酉(ひのと とり)。丁は火でも静かに燃えるローソクに例えられます。昨年は変化の多い年でしたが、今年はそこまで激しくはないと思います。ただし、丁の意味は別にあって、その形から釘の頭に通じます。釘の用途は何でしょうか。その多くは木材に釘を打ってつなぎとめるものです。転じてバラバラになるのを止める。酉の意味は「鳥」ではなくて「酒」を入れる壺にほかなりません。酒を飲んで良い人間関係を作れる一方、酒での失敗を戒めます。



研究と新規に活路

昨年は二黒土星で、土に関係するものがキーワードでした。4月の熊本地震。8月に豊洲市場の地下盛土問題。11月には博多駅前の道路陥没事故発生。易占で山地剝が出ましたが、これは山崩れという意味で、そのようになってしまったことが恐ろしい。

また、都心部では不動産価格がじわじわ上昇しました。広島でもタワーマンションがその姿を現してきました。赤い色に注目と言いましたが、「真赤激」カープ25年ぶりのセ・リーグ優勝で盛り上がりました。しかしながら、庶民にとって景気上昇という掛け声は実感が伴わないことでしょう。

さて、年の九星は一白水星です。水に関係する事象が現れます。雨や雪が多い年となります。川の氾濫や、津波にも引き続き警戒が必要です。良い場所としては夏の海、春秋の湖や池。法律や盗賊という意味もあるので、盗難に気をつけましょう。

色は黒がポイント。食べ物で取りいれましょうか。温泉なら関東で見られる黒湯がお勧め。ラッキーアイテムは水晶です。なお、一白は勉強や研究を意味します。事業では新事業、新商品開発へ取り組む。

個人では新しい知識を得るための勉強や、資格取得に積極的に挑戦してください。一白は恋愛にも新たな出会いが期待できます。ラッキーな数字は1と6です。



契約の履行に注意

さて今年はどうなるのでしょうか。易で占うと…。

【雷水解(らいすいかい)】

解は「ゆるむ」「解ける」「解決する」「解消」という意味です。放っておけばバラバラになる。そこで釘を打って止める必要があります。

1年を通しての現象として「大きく変化する年」となるでしょう。そのためには、素早く決断し、行動に移すこと(野球でも短期決戦なのに後手後手に回り、取り返しがつかない状態になったのは記憶に新たです)。

本卦「雷水解」の上卦「震」は、腕の形。下卦「水」は、腕から水が抜けた状況。つまり破約、損失を意味します。約束を反故にされることが出てくるでしょう。契約を確実に実行させるために書面にしておくことです。

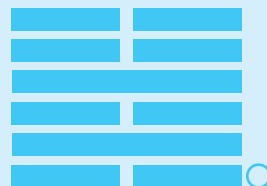
解の字から衆議院解散に打って出ることは確実です。立て続けの強硬策が見られることでしょう。しかし、得られるものは意外に予想を出ないと思います。

さて、事業に目を移してみましよう。今年の成功ポイントは有能な部下を使って組織力で成果を上げる。つまり単独行動よりもグループでの取り組みが吉。営業だけでなく、トラブルやクレームは上司の力を借りて解決をはかることです。

なお、之卦の「雷沢帰妹」は上卦「震」、腕の中にある酒を下卦、「兌」飲んで悦ぶ形となっています。パーティなど人との縁づくりに積極的に出ていきましょう。

環境が激変の時こそ、ピンチがかえってチャンスと信じて前向きに行動してください。

本卦 雷水解



之卦 雷沢帰妹

